仕　様　書

案件番号	218

見積書提出期限	質疑書提出期限	同等品選定期限	地域要件
令和８年11月27日 午後３時	令和８年11月24日 正午	令和８年11月20日	市内業者

案件名　　男性冬制服

品　　名	男性冬制服	
数量単位	【男性用】上衣５着、下衣５本	
規　格　等	別紙仕様書のとおり	
付属品等		
納入場所	消防本部総務課	
納入期限	令和９年３月３１日	
納入及び設置方法	特になし	
撤去及び処分方法	特になし	
環境配慮に関する条件	特になし	
参考物品	本　　体	－
	付属品等	－
同等品の可否	（可）	不可
添付資料	－	
説　明　会	要	（不要）
特記事項	令和９年度消防職員採用候補者招集日に見本・ゲージ等により採寸すること。 【招集日時・場所】	

	令和８年１２月２５日（金）　１３：３０～１４：３０ 消防本部４階大会議室、小会議室					
物件詳細確認先	部課	消防本部総務課	担当者	八塚	連絡先	0898-32-2755

【注意事項】

1　上記参考物品以外の同等品を選定する場合には、同等品選定期限までに同等品承認申請書と、選定する同等品に規格や詳細がわかるカタログ等を要求課まで提出し、承認を受けてから見積ること。

2　上記に記載している仕様（納入、組立、設置、検収及び撤去等）に掛かる費用を含めること。

3　落札業者は、納入日等について要求担当課と打ち合わせのうえ納入すること。

4　参加を希望する案件について質疑がある場合には、仕様書に記載の質疑書提出期限までに契約課まで、案件番号と案件名を明記したうえで質疑書を提出すること。（提出方法はＦＡＸ又は電子メールで受け付けます。）

5　参加を希望する案件の見積書を見積書提出期限までに市役所庁舎第２別館７階契約課まで書留郵便又は持参により提出すること。

Ｒ７・８年度入札参加資格申請（入力表Ｂ）に物品希望業種として、上記物品が含まれていること。

但し、含まれていない場合においては、見積書提出期限までに「建設工事及び物品購入等入札参加資格審査申請書変更届」を提出することにより、参加は可能とする。

なお、物品希望業種に記載ないまま提出した見積書は無効とする。

制　服　仕　様　書

この仕様書は、今治市消防本部（以下「当本部」という。）が購入する制服（冬）について必要な事項を定める。

1．上衣

1. 上衣

（ア）　衿	折衿式　ピークラベル
（イ）身　頃	ダブルプレスト　６ツ釦　２ツ掛け、ノーベント
（ウ）ポケット	胸ポケット一左に、箱ポケット 脇ポケット一左右に、両玉フラップポケット 内ポケット一片玉２個、下前三角蓋釦止め
（エ）　袖	筒袖　袖口釦　無し
（オ）見返し	一枚裁ち（ハギ不可）
（カ）　裏	総裏仕立て
（キ）階級棚	下前胸に付ける。
（ク）ワッペン	左府８ｃｍ下に台座（マジック）を付ける。
（ケ）袖章	階級別に左右に付ける。

2.材料

区分	仕　　様		用　　途
主材料	表　地 構　成 晶　番	新羊毛 98%・静電性繊維 2% GOS-2	前身頃、後身頃 見返し、袖、上衿、 ポケット
	裏　地 構　成 品　番	ポリエステル 100% 5070　C/#236	前身頃裏、後身頃裏、袖腹裏、ベント裏打ちポケット
	袋　地	86000W　シルバーグレー	ポケット袋
	接着芯	D5850　BK	前身頃、見返し
	増　芯	SU-20	前身頃
	地衿芯	1616　グレー	地衿
	裏　衿	160P　紺	裏衿
	パット	IC-200-12	肩台
	裄　線	MJ-2000　30 ㎜	袖ぐり上部
	釦	指定（官金）GK-22（短足・長足）	フロント
		セシル釦　黒①15 ㎜　②21mm	①内ポケット②引つ張り釦
	テープ	8mm～10mm	袖付け周り、衿ぐり、ラベル返り線、ベント
	衿吊り	黒/紺	
	片　布	氏名片布・品質表示・サイズネーム/三段式	

3.条件

(1) 縫い糸
（イ）地縫い糸　　絹糸又は合繊糸
　　但し、オーバーロック綿糸可
（ロ）釦付け糸　　麻糸又は合繊糸
（ハ）穴　糸　　絹又は合繊糸
（ニ）まつり糸　　絹又は合繊糸

(2) 針数（3cm 間表面に表れた糸数）
（イ）地縫い　　１３針以上
（ロ）まつり　　７針以上
（ハ）ルイス　　６針以上

(3) 穴かがり　　穴の大きさは釦に合わせてかがり、かがり糸が布から抜けないよう注意する。

(4) 釦付け
（イ）手付けの場合は、２本糸にて一つの穴に２回以上とうし、根巻きを２回以上し、糸止めを完全にする。但し、袖口は根巻きをしない。
（ロ）械付けの場合は、手付けの糸量と同程度とする。

(5) 裁断
（イ）縦裁　　身頃全面、見返し、山袖、下袖、ポケット
（ロ）緯裁　　上衿表
（ハ）斜裁　　衿芯、裏衿（カラークロス）
（ニ）ハギ及びマチは一切不可。

(6) .縫い代
（イ）背中央　　2cm 以上
（ロ）脇　　1cm 以上

(7) 折り代
（イ）袖口　　4cm 以上
（ロ）身頃裾　　3cm 以上

(8) 縫製
（イ）各部の縫い合わせの上下糸につれたるみのないこと。
（ロ）縫い目とび、縫いはずれのないこと。
（ハ）縫い目まがりが目立たないこと。
（ニ）返し針は完全にすること。
（ホ）必要な箇所に合印をいれポイント合わせには特に注意すること。

(9) 仕上げ
（イ）各部の縫い合わせの上下糸につれたるみのないこと。
（ロ）縫い目とび、縫いはずれのないこと。

(10)寸法は別表通りとする。

4．縫製

区　分	要　　領
衿	裏衿は表生地と同系色のカラークロスを使用する。
前身頃	胸ダーツをとるダーツ縫いに際しては表に当たりがでないようにする。 前身芯は接着芯を用い、胸のボリュームが十分出るようにクセとりをするとともに型崩れが生じないように充分注意すること。 接着芯は定められた最適の条件において接着を行うこととする。
脇ポケット	フラップ付きとし、フラップには裏地を裏打ちし縫製する。 袋は二条縫いとする。但し、太糸の場合は一条縫いでもよい。
袖	袖は二枚袖とし袖口にスレーキ芯又はバイリーン芯を入れ表地の折り返しを手まつりで止める。（又はミシン縫い） 袖裏を筒縫いし、縫い目を片倒しして表地に袖とじをする。 階級別袖章を付ける。
見返し	裏地との縫い代部を芯に接着テープ止めとする。 中とじはウエスト線より上を増芯に止め、ウエスト線より下は内ポケット袋地にからげる。 又は両面接着テープにて完全に止める中とじをする際、胸のボリュームを逃がさないように注意すること。
後身頃	後身頃に肩甲骨のゆとりを付けるための充分な肩ぐせをとる。（ダーツ不可） 背縫いは表面を縫い割りとし裁ち目を二つ折りミシン掛けとする。
ベンツ	ノーベント
肩縫い	表地は縫い割りとし裏地はミシン片倒しとする。
袖付け	いせ込みむらを無くし、左右を正常に美しく無理のないように付ける。
裾	裾の折り代は 3.0cm 以上とし裏地は 1.0cm 以上の着せ掛けを付ける。
内ポケット	２個片玉縁　下前三角蓋釦止め。
釦・釦穴	釦・釦穴の位置は各号数によりバランスを保つ位置に付ける。
衿吊り	衿腰の中央に無地の衿吊りを付ける
階級棚	長さ 1.8cm 巾 2.5cm の階級棚を下前腕に付ける。
袖　章	階級別に左右に付ける。
ワッペン	左肩袖つけから 8cm 下にワッペン台座を付ける。
その他	記載されてない箇所については検定見本及び別添図解による。 又は当然行わなければならない事項であれば良心的に対処すること。

2．下衣

1．下　衣

（ア）帯　　帯付き
（イ）前身頃　　オールワンクック
（ウ）ポケット　　脇ポケット一左右に、斜めポケット
ピスポケット一右に、片玉縁
雨蓋フラップ釦止め
（エ）ループ　　８本

2．材料

区　分	仕　　様	用　　途
主材料	表　地 組　織 構　成　　新羊毛 98%・静電性繊維 2% 品　番　　GOS-2	前身頃、後身頃、前立て、天狗、帯、ループ、ポケット向当て
	マーベルト　/　袋地 3330 オペロンブルー　/　86000 シルバーグレー	帯、ポケット袋、 忍びポケット
副資材	ファスナー　4EF	前立て
	前環　　#550　黒	前止め
	ヒザ当て　　TN891　グレー	
	釦　　100-8A　黒 14.5 ㎜	天狗、ピスポケ
	片布　　氏名片布・品質表・サイズネーム/三段式	

3．縫製

区　分	要　　領
脇 ポケット	口巾 15.5cm、深さ下止まり門より 14.5cm を標準とする。但しデザインによって口巾・深さは異なる場合かある。 口布・向当て布の裁ち目は二つ折り縫いまたはオーバーロックかがりとする。 袋は地縫い返しして飾りステッチをかける。但し、特殊なものについてはインターロックかかりでもよい。
ピス ポケット	口巾 14.0cm、深さ 16.0cm を標準とする。但し、デザインによって口巾・深さは異なる場合がある。 口巾の巾は、4.0cm 以上を標準とし裁ち目は二つ折り縫いまだはオーバーロックかかりとする。 袋は地縫い返しして、飾りステッチをかける。但し、特殊なものについてはインターロックかかりでもよい。

区　分	要　　領
相引･内股	脇ポケット下門から上に 5.0cm、下に 10.0cm 程度二重縫いとする。 但し、環縫いミシンも可。
尻縫･小股	二重縫いとする。 但し、太糸の一条縫い又は２本針環縫いは、二重縫いとみなす。
ひざ当て	有り
ウエスト	腰裏・マーベルト等による表地のあまり、ねじれのないこと。 腰線を美しく仕上げること。 マーベルトのまつりによるひびきのないこと。
ファスナー	ファスナー付けを完全にし、開き下部に門止めを入れること。
ダーツ	左右均等であること。 ダーツ処理を完全にすること。
針目数	運針数は 3cm 間の縫い数をあらわす。（飾り加工縫いを徐く） （1）地縫い　13 針以上 薄地・その他の特殊素材の場合　10 針以上 （2）すくい縫い　５針以上 （3）環縫い　10 針以上 オーバーロックかがり縫い　７針以上 インターロック縫い　10 針以上 （4）ベルトファスナー ウエストまつり　７針以上 その他特殊な生地を使用した場合は、使用生地に適した運針数であること。
釦付け	手付けー２本糸で１つの穴に２回以上（生地共）通し、根巻きは使用生地に適した回数（2～4 回）とし、糸止めを完全にする。但し、足付き釦及び飾り釦の根巻きについては少量とするか根巻きはしない。 機械付けー手付けに準じた強度とし、糸止めを完全にする。
穴かがり	鳩目穴は別門付き又は流れとめとすること。
縫い代	相引きは 0.8cm 以上 内股は 0.8cm 以上 尻上端は 3.0cm 以上 尻下端は 0.8cm 以上
裾	裾上げのものは、表にひびかないようにまつること。 ミシンの縫いつれのないこと。
その他	記載されていない箇所については検定見本及び別添図解による。 又は、当然おこなわなければならない事項であれば良心的に対処することとする。

以上、同等品以上とすること。

３．その他

(1)　入　札　同等品とする場合は、入札の前日までに生地見本（色相を含む）を提示し、当本部の承認を得るものとする。ただし、前年度納入実績のある業者については、同品の場合についてのみ提示不要とする。
入札に際し、入札の前日までに紡績メーカーの出荷引受書を提出すること。
落札業者は、紡績メーカーの出荷証明書を提出すること。

(2)　検　査　納入に際して、当本部立ち会いで抽出により製品検査を行う。

(3)　保　証　検査が抽出であるため、検収後であっても材料、縫製等による不良品は手直し又は交換すること。

(4)　疑　義　この仕様書の内容及び記載なき事項について疑義が生じた場合は、当本部と協議のうえ良心的に解決するものとする。

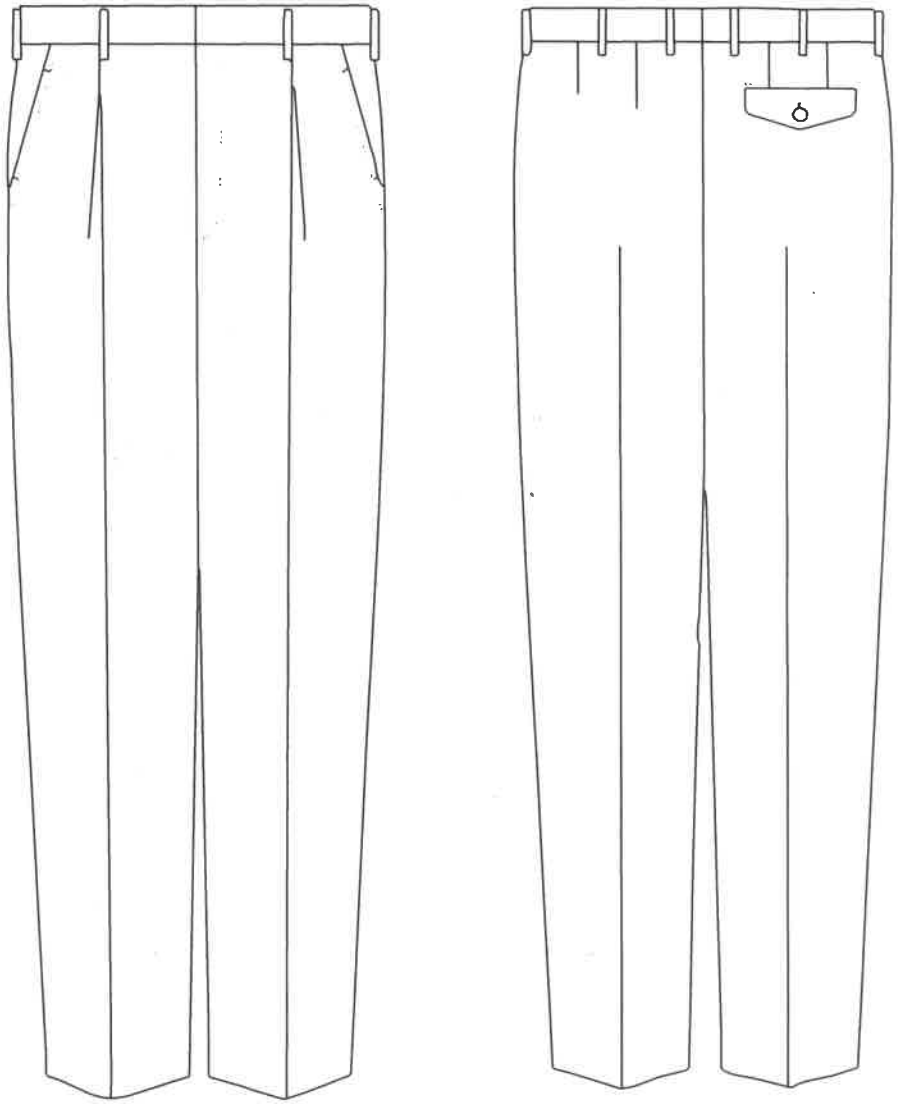
４．採　寸

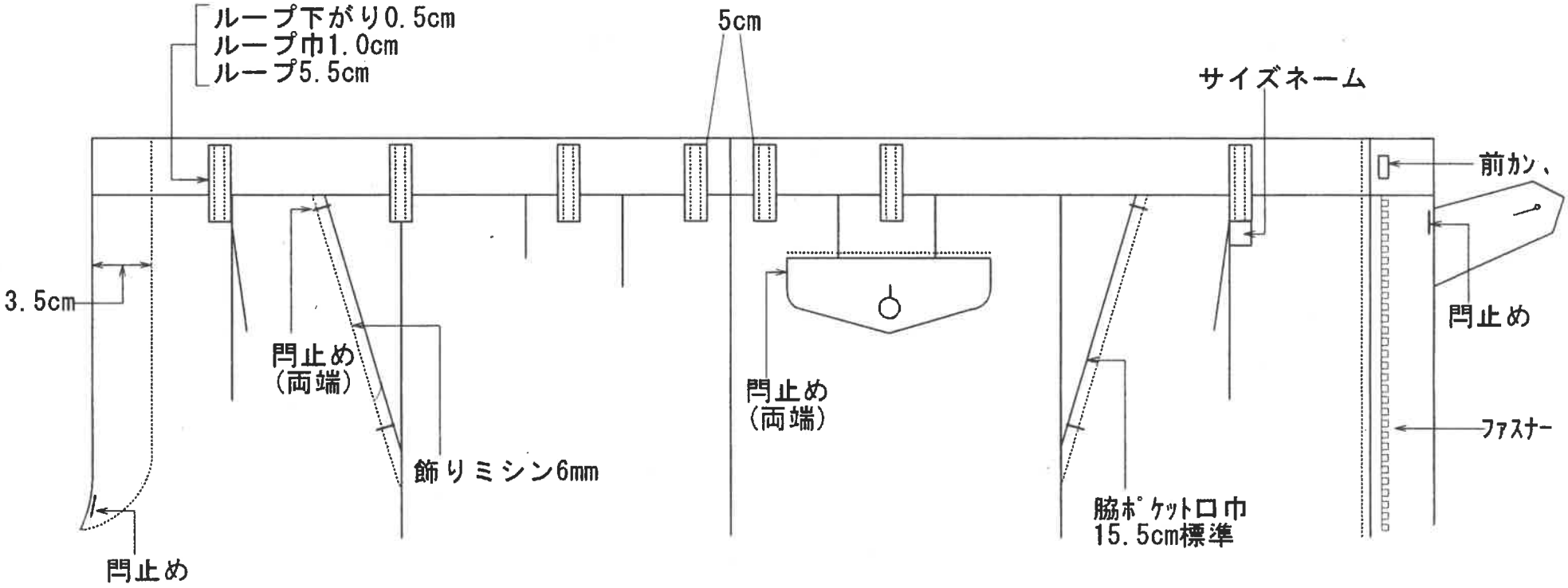
見本・ゲージ等により採寸すること。

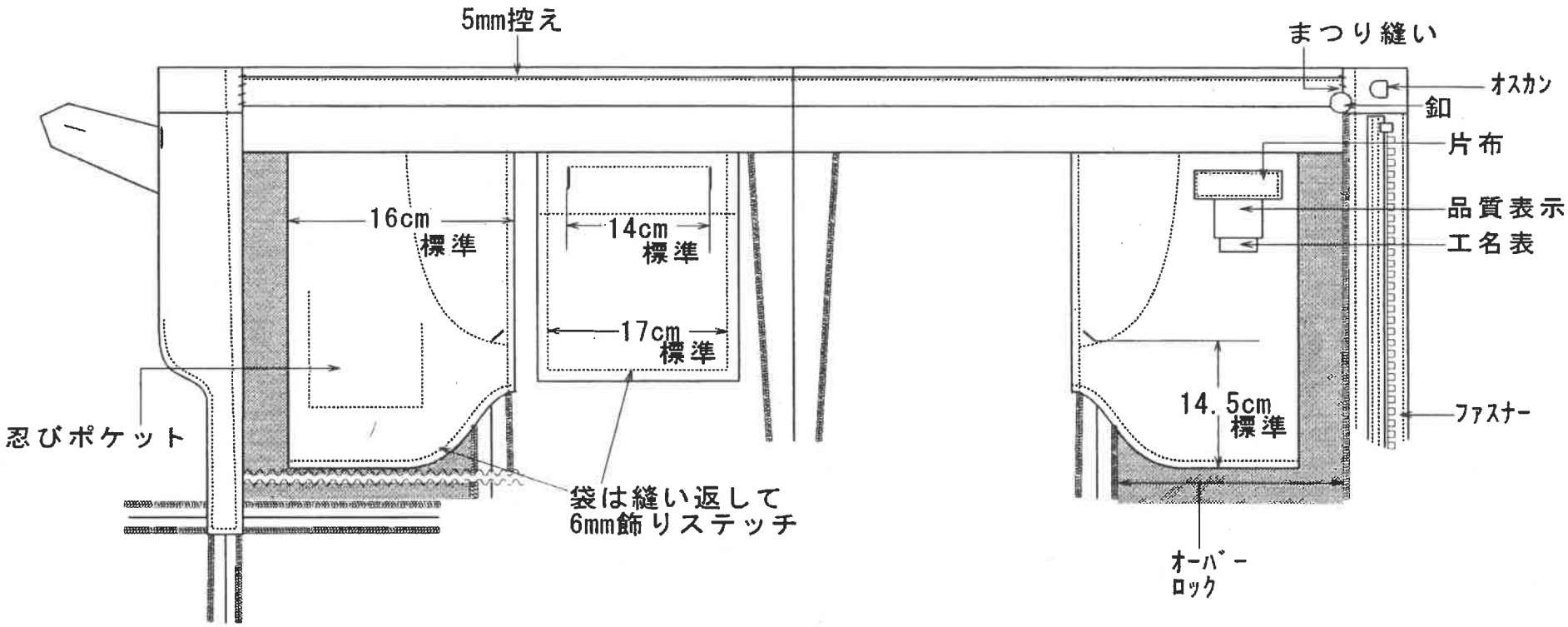
５．数　量　　上衣（男性用５着）
下衣（男性用５本）

６．納　期　　令和９年３月３１日

・ワンタック
・帯　帯付き
・脇　斜めポケット
・ピスポケット　右　片玉縁
　　雨蓋釦止め
・ループ　８本




ループ下がり0.5cm
ループ巾1.0cm
ループ5.5cm
5cm
サイズネーム
前カン
3.5cm
門止め
(両端)
飾りミシン6mm
門止め
(両端)
門止め
脇ポケット口巾
15.5cm標準
ファスナー
門止め


5mm控え
まつり縫い
オスカン
釦
片布
品質表示
工名表
16cm
標準
14cm
標準
17cm
標準
14.5cm
標準
ファスナー
忍びポケット
袋は縫い返して
6mm飾りステッチ
オーバー
ロック